

2020年12月23日（水）  
札幌市新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

# 札幌市の重点的取組について

国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 第4室長  
実地疫学専門家養成コース（FETP）コーディネーター  
山岸拓也  
tack-8@niid.go.jp

# 札幌市の11月新型コロナウイルス感染症対策方針のミッション

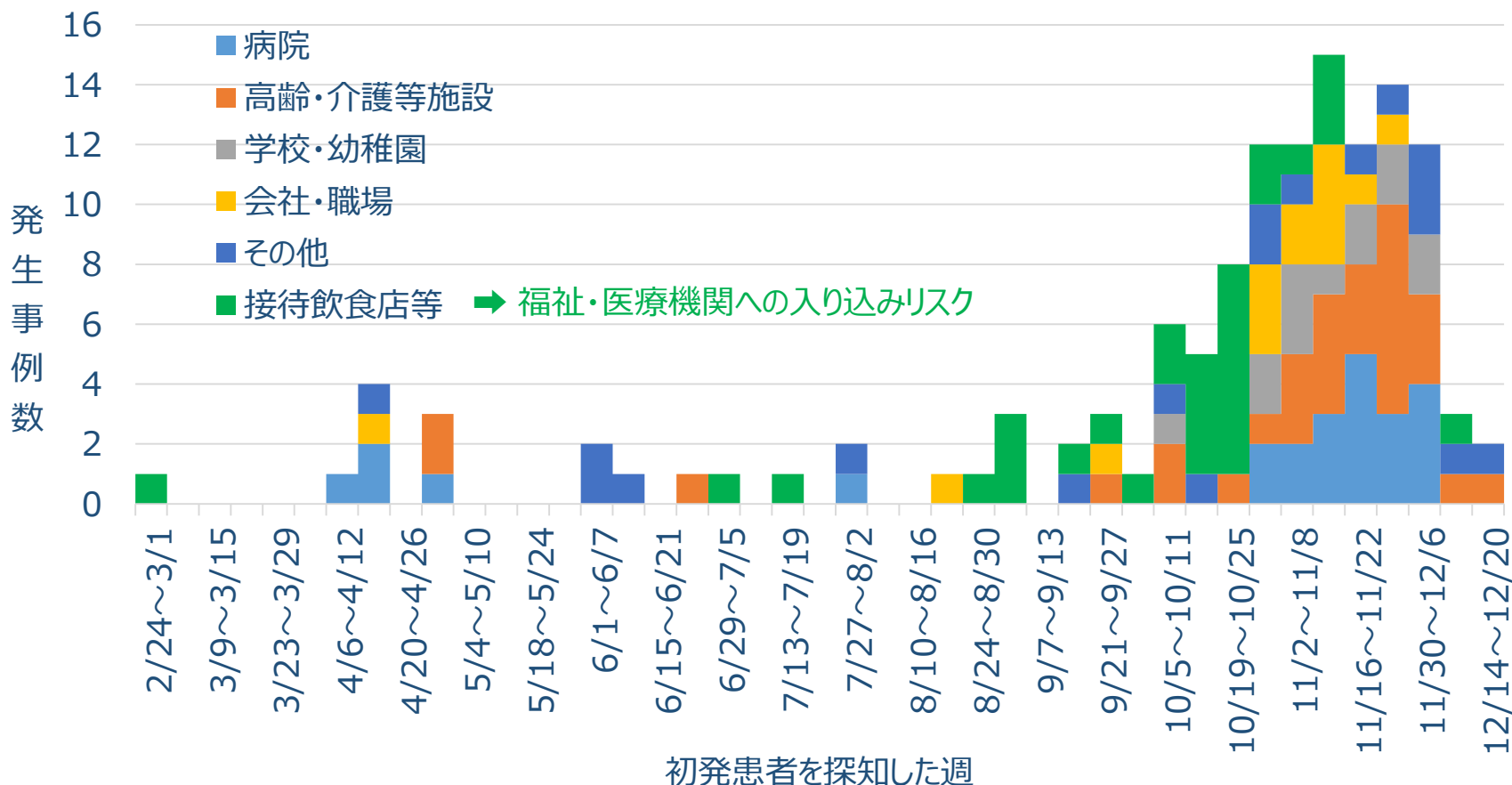
1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による  
**死亡者を最小限**に抑える
2. すすきの地区の新規感染の広がりを抑える  
**（新規症例ゼロ）**
3. 従事する職員の感染予防の徹底  
**（職員感染ゼロ）**

# COVID-19による死亡者を最小限に： 福祉施設・医療機関への対策

1. 福祉施設・医療機関への入り込みリスクの増加に伴いクラスター数が増加し、その減少と共にクラスター数も減少
2. 保健所の早期対策は福祉施設・医療機関のクラスター規模抑制に効果的だった
3. 今後の対応力強化

# 福祉施設・医療機関への入り込みリスクの増加に伴いクラスタ数が増加し、その減少と共にクラスタ数も減少

札幌市クラスタの流行曲線（集積5例以上、129事例）



市中感染と施設関連・医療関連感染は表裏一体

# 保健所の早期対策は福祉施設・医療機関のクラスター規模抑制に効果的だった

	9月30日まで				10月1日以降		
	件数	陽性者数		件数	陽性者数		
		中央値	四分位範囲		中央値	四分位範囲	
全体	27	15	(8.5-22.5)	102	12	(7-17.5)	
病院	5	33	(17-51)	19	30	(11.5-49.5)	
施設	4	18	(12.5-38.25)	26	9	(6-13.75)	
学校・幼稚園	0	—	—	13	17	(14-25)	
会社・職場	3	19	(13.5-23)	11	11	(7.5-14)	
その他	6	15	(11-17.5)	12	13	(7.75-16.25)	
接待飲食店	9	9	(7-14)	21	9	(7-12)	

- 濃厚接触者発生段階で施設への介入開始
  - 濃厚接触者が出た段階での検査や個人防護具の準備支援
  - 患者発生直後からの患者搬送の必要性評価
- 必要に応じた現地対策本部設置（11月以降8つ設置）

# 福祉施設・医療機関の今後の対応力強化

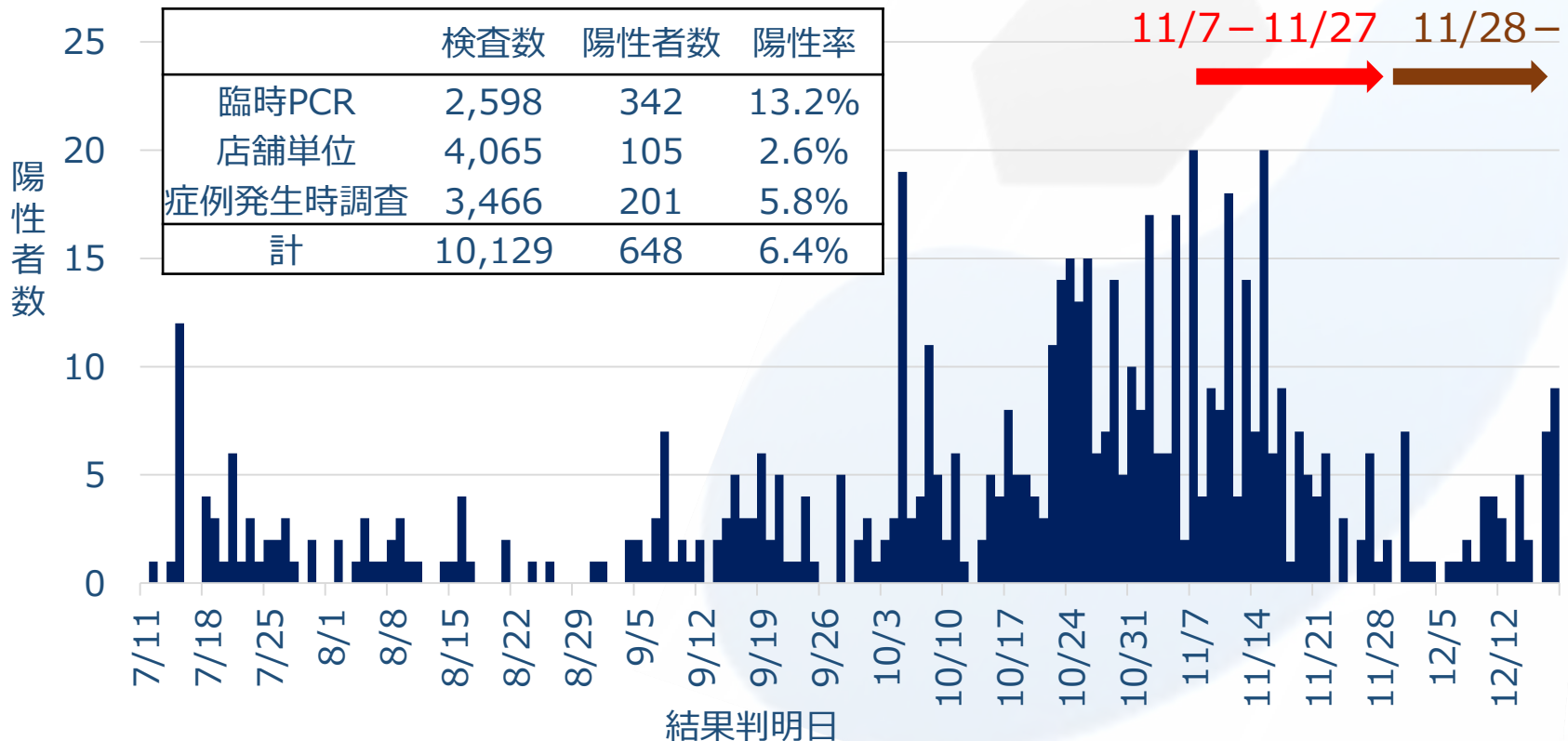
1. 汚染区域（レッドゾーン）で活動できる人員確保が必要
  - 今回はレッドゾーンで活動する職員が足りず、外部支援で補充
    - 厚生労働省クラスター対策班（国立感染症研究所など、計17）、同地域支援班（DMAT、計19）、ジャパンハート（NGO）の看護師計8、知事会派遣看護師 計14
  - 札幌市で活用できる人員候補
    - 保健所や札幌市内部の保健師等の専門職
    - 民間清掃業者
2. クラスターが発生した施設・病院のネットワークの活用
  - 精神科病院、透析病院、など

# すすきの地区の新規感染の広がりを抑える ・・・11月7日以降の取り組み

1. 重点的・積極的なPCR検査の実施
2. 事業者・業界団体等との研修会の実施
3. 市民に対する行動変容の呼びかけ
4. 時短営業・休業の要請

# すすきの地区の接待を伴う飲食店の時短は新規症例発生防止に有効だった

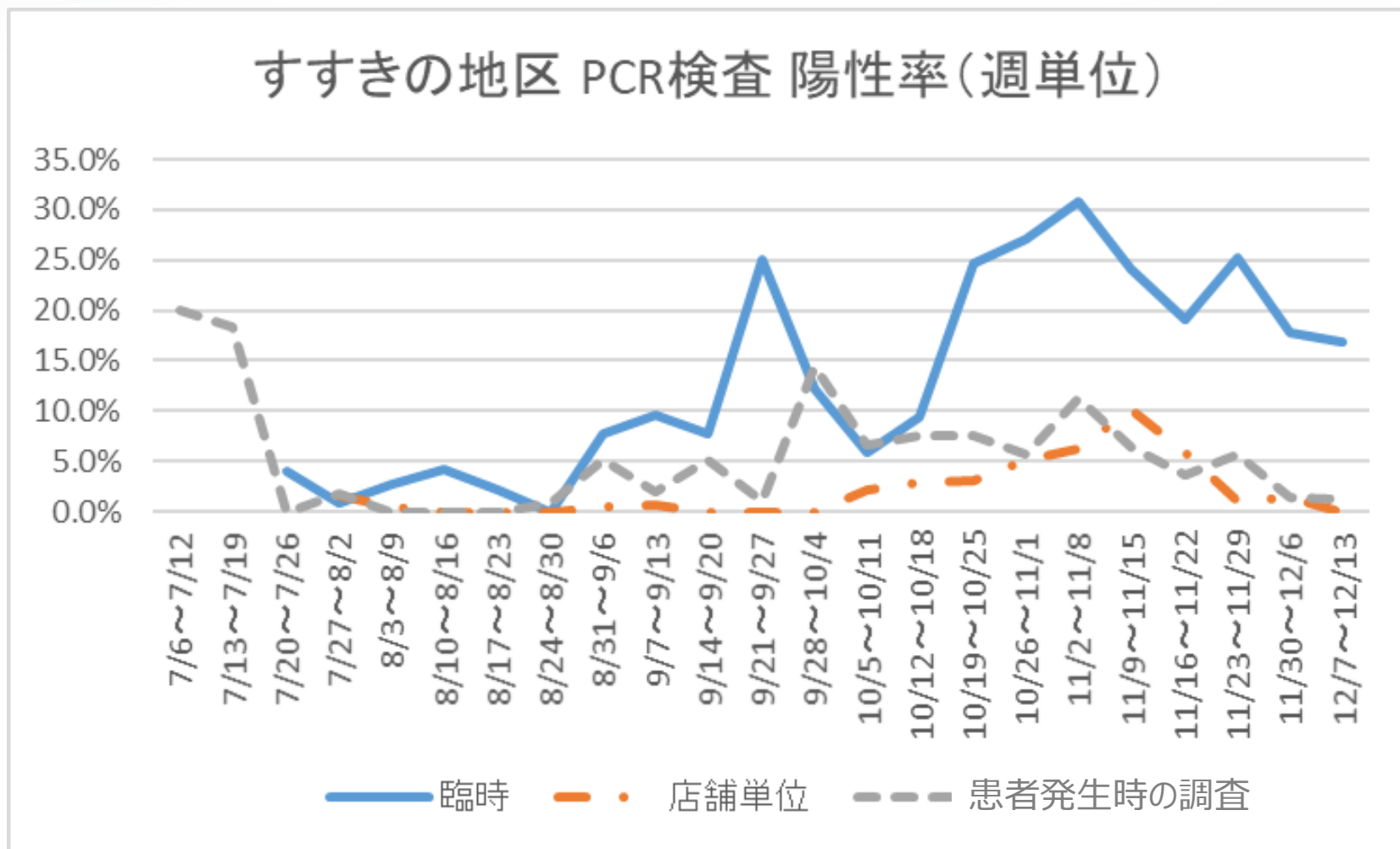
すすきの地区接待伴う飲食店陽性者数の推移



- 時短営業要請後から新規症例数が減少
- 最近一部店舗からの発生を認めている



# すすきの地区の臨時検査センターにおける検査陽性率は下がりきっていない！



# すすきの地区における今後の対策の方向性

## 1. 安全な営業の推進

- 感染予防に関する最新知見の定期的な発信
- 定期的な研修会、等

## 2. 協力店舗との関係・ネットワークの構築と維持

- すすきの地区の団体等を窓口
- 接待を伴う飲食店大手グループが最初のターゲット
- 定期的な市職員の訪問と助言、定期検査、等

## 3. クラスタ発生店舗からの協力を得て、関心が乏しい店舗とのネットワーク・信頼関係構築

- 助言＞公表